



神郡宗像に夏の行楽シーズンを告げる『海開き』神事が、六月二十八日(月)午前十時から、宗像観光協会(会長 吉武邦彦氏)主催で行われた。

宗像市海開き

梅雨の中休み、真夏のように晴れ渡った空の下、当大社高向権宮司以下神職二名が宗像市神湊海岸に向。海川山野の神饌がお供えされた砂浜の祭壇で、玄海ホテル旅館組合会長 原重司氏、神湊飲食店組合(会長 安部修市氏、水難救助所(所長 三苦健二氏)ら、海に携わる各関係者が参列し、『海難事故の無いように』、『沢山の皆様が宗像の海を訪れるように』と敬虔な祈りを捧げた。

神湊海岸での神事が終了すると神職が二手に分かれ、深浜海岸、鐘崎漁港、五月松原、江口浜(江口、勝浦海岸(津屋崎)など、市内の各海水浴場へ向かい清祓を行った。祭典後は、同市内の食事処『海彦』で直会が催され、宗像の観光事業の将来についてなどの話題に花が咲いた。宗像の海は海水の透明度が高く、国定公園の指定を受けている美しい砂浜である。また『釣りアジ玄ちゃん』『玄海とらふく』『玄海活イカ』などブランド魚に代表される海の幸を有し、県内でも人気の海



宗像

8月祭事暦

- 毎月1・15日 ^{つきなみ}月次祭
 - 午前10時 高宮祭 第二宮・第三宮祭
 - 引き続き 宗像護国神社 月命日祭(1日) 遙拝(15日)
 - 午前11時～ 総社祭 浦安舞 奉奏(1日) 豊栄舞 奉奏(15日)
- 7日 午後8時～ 中津宮七夕祭 於=筑前大島 中津宮
- 15日 午後7時～ 宗像護国神社 千灯明 於=宗像護国神社



海の清祓

祈りを捧げる吉武会長

水浴場である。吉武観光協会会長は『観光客の皆様には、海では無理をせざるルールを守り、皆が楽しく海の恵を享受していただければ』と話されていた。

出光
まいどプラスで、人生プラスに。

誕生!

出光カード まいどプラス

ご入会は、最寄りの出光サービスステーションへどうぞ。

出光クレジット株式会社/出光興産株式会社
[出光カード会員サービスデスク] 03-5996-1236
(9:00~18:00 年中無休/元旦除く)
ホームページ www.idemitsu.co.jp

暑中御見舞申し上げます

競技かるた制定一〇〇周年記念 第二十八回宗像大社小倉百人一首 かるた大会

六月十三・二十日の両日、第二十八回宗像大社小倉百人一首かるた大会(主催〓宗像大社、社団法人全日本かるた協会、主管〓九州かるた協会、後援〓宗像市教育委員会)が、当大社清明殿・斎館で開催された。

当大社では伝統文化の継承と青少年の情操教育の一環として、昭和五十一年からこのか



札を取る瞬間 (20日の有段者の部にて)

るた大会が実施され、今回で二十八回目となった。
また、今年は競技かるたが制定されて一〇〇周年であり、十三日の開会式では当大社が全日本かるた協会より表彰を受け、高向権宮司が記念の賞状を受けた。

一週目の十三日は初心者を中心にD・E級の試合が行われ、小・中学生を中心に九州各県から一四一人が参集し、夕刻まで熱戦を繰り広げた。

二週目の二十日は上級者のA・B・C級有段者の試合で、高・大学生、社会人を中心に実力者が、九州各県は勿論、関西・関東からも一二人が参集し、緊迫した手に汗握る熱戦が繰り広げられた。

特に上級者で競うA級は実力が伯仲白熱した試合の末、大会史上初めて宗像市から優勝者が出た。栄冠に輝いた白井百合子さんは宗像市三郎丸在住、九才でかるたを始め、現在は三人の子供さんを育てながら日々研鑽を積み重ねている。

大会関係者も「かるた競技一〇〇周年という記念の年に、初めて地元宗像からA級優勝者が出て、御神威を感じさせる良い大会となった」と語った。

表彰式が終ると、一同互いの健闘を称え合い、次回の再会を誓い大社を後にした。
各段・各級の成績は左記の通り。

A級 (二十九人)

- 優勝 白井百合子 (九州かるた協会・宗像市)
- 準優勝 塚口井公子 (篠山かるた協会・兵庫県)
- 三位 伊藤 裕之 (宮崎県かるた協会)
- 三位 中島実穂子 (九州かるた協会)
- B級 (三十七人)
- 優勝 安元 ゆら (駒場かるた協会・東京都)
- 準優勝 豊田 愛美 (島根県かるた協会)
- 三位 田中 在 (慶應かるた協会)
- 三位 今坂 友香 (熊本県かるた協会)

C級 (四十六人)

- 優勝 檜谷 舞 (島根県かるた協会)
- 準優勝 奥 まどか (九州かるた協会)
- 三位 今川 鮎美 (大分県かるた協会)
- 三位 高倉 康佑 (大分県かるた協会)
- D級 (五十七人)
- Aパート
- 優勝 長塚 恵 (北陵高・熊本県)
- 準優勝 後藤 維大 (大分県かるた協会)

Bパート

- 優勝 田添 素良 (熊本西高・熊本県)
- 準優勝 城戸 理美 (宇美かるた会・福岡県)
- 初心者級・中学生以上(三十二人)
- 優勝 武次 由佳 (長崎北高・長崎県)
- 準優勝 森 愛三美 (長崎南高・長崎県)
- 初心者級・小学生以上(十人)
- 優勝 福島 幸奈 (新田原かるた会・福岡県)
- 準優勝 樋口 侑美 (中津かるた会・大分県)

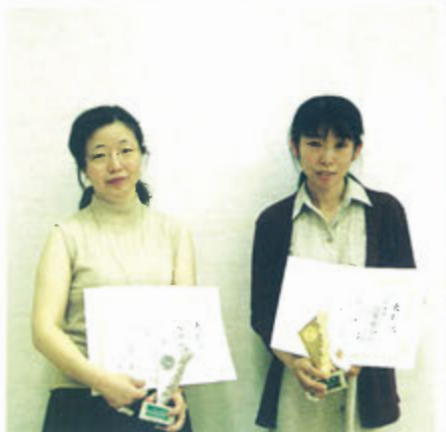


三つのソリューションで、あなたのもっと身近へ。



株式会社 新出光 〒812-0036 福岡市博多区上呉服町1番10号 TEL(092)291-4134

暑中御見舞申し上げます



A級優勝の臼井さん(右)と準優勝の塚口さん(左)



全日本かるた協会より感謝状を受け取る高向権宮司



開会式でのお祝い

『かるた競技』は、日露開戦の明治三十七年(一九〇四)新聞『萬朝報』(明治末期の日本最大発行部数を誇った日刊紙)の社主と主筆を兼ねていたジャーナリスト黒岩周六(しゅろく)涙査により創始された。

現在『競技かるたの父』とも称されている彼は、自社新聞の購読者拡大策の一環として『百人一首かるた』に注目し、それまで統一したルールは存在せず、各会ごとに競技方法がまちまちであったものを、朝報社員や一高生(現『東大』)と試行錯誤の末、ルールの統一を進めた。

競技かるたを行う団体としては『社団法人全日本かるた協会』があり、その傘下に全国約一〇〇の競技団体がある。(当大会の大会を主管するのは『九州かるた協会』である)競技人口は現在約一〇万人とも言われている。

その『競技かるた』のルールだが、かるたと聞くと大勢で札を囲み、読み手が読んだ和歌の下の句が書かれた取り札を探す場面を想像するが、これはいわゆる『お座敷かるた』または『散らし取り』と呼ばれるゲームである。競技かるたは、一対一で行い、取った枚数で勝敗を争うのではなく、先に手元の札を無くした方、〇枚になった方の勝ちである。

試合において使用されるのは、藤原定家によって選出された『小倉百人一首』の札で、一〇〇枚の内五〇枚を使う。つまり残りの五〇枚の札は読み手によって読まれるもの、その場には存在せず取られることのない『空札』となる。この空札があるために、その場に無い札を触るお手つきが発生し、競技の面白さが増すのである。

似たようなルールのスポーツとして、ゴルフが打数の少なさをポイントとして競うのと似ているが、ゼロ〇零を目指す競技というのは世界をみても『かるた』のみであり、我が国独自の文化が造りだした世界に誇れる競技である。

神社界との関係も深く、第一回(明治三十七年二月十一日)こそ東京・日本橋の常盤木俱樂部で開催されたが、同年七月の第二回大会は東京・麹町の日枝神社が会場となっており、最大のタイトル戦である名人位クイーン位の争奪戦は、毎年正月に滋賀県の近江神宮で開催されている。

また三大タイトルの一つ選手権大会は、昭和三十七年に熱田神宮を会場に始められており(現在は豊田市で開催)、京都・八坂神社では『かるた始め神事』という年中祭事の一つとして行われている社もある。

エネルギーに関する ベスト・パートナーを目指します。

お客さまの声に、誠心誠意、耳を傾けること。
エネルギーに関する様々なご要望をワンストップで受け止め、グループの総合力を駆使して対応させていただくこと。それが九州電力のエネルギー・ソリューション。私たちは、お客さまとガッチリとスクラムを組み、エネルギーという幅広いフィールドの中で、エネルギーの効率的利用やお客さま設備に関するアドバイスなどに柔軟に対応できるベスト・パートナーを目指します。



<http://www.kyuden.co.jp/solution/index.html>



スクラムを
組ませて
ください。

暑中御見舞申し上げます

福岡発地域ドラマ『玄海〜私の海へ〜』 第三十回放送文化基金賞 テレビドラマ部門本賞受賞

昨夏、宗像市鐘崎を中心にロケが行われた、NHK福岡放送局制作の福岡発地域ドラマ『玄海〜私の海へ〜』が、第三十回放送文化基金賞のテレビドラマ部門で本賞を受賞し、七月三日鐘崎の国民宿舎『ひびき』でNHK福岡放

送局長以下同局関係者、出演者、スタッフが、宗像市長以下行政関係者、地元撮影協力者で受賞祝賀会が開かれ、当社社からも神職二名が出席した。



初めての漁に出る主人公 (ドラマ1シーン)

『玄海』は、福岡県でも有数の水揚高をほこる、宗像市の鐘崎漁港で生まれ育った主人公沖田海生(大東友紀)が、父であり網船団の船頭である宗一(原田大二郎)との暮らしの中で、海で生きることの決意を固めていく作品。鐘崎では、子供を産む女性を危険な目に遭わせないため女性が漁師になることは認められておらず、漁師の拠り所とする当大社『沖ノ島』も同じく女人禁制である。作品評では「風景を借りるだけでなく、その地域の現実問題を元に、そこでしか作れないドラマに仕上がっている。地域放送局だからこそできる、今後のドラマの一つのあり方を示した作品」との評を受けた。

実際、当大社も境内の撮影神職の出演(後姿のみ)は勿論、



主人公の沖田 海生役を務めた大東 友紀さん

『五月寮』をスタッフ宿泊場に提供するなど全面的に協力、鐘崎では総勢五十人の本物の漁師が出演、延べ三百人の方々がボランティアとして撮影に参加し、地域をあげてバックアップした。

放映は総合テレビは勿論、BSでも放送、再放送され各地で反響を呼んだ。

この賞だが、昨年は該当作品が無く、かつては『大地の子』が受賞したほどの大賞で、賞金は一五〇万円。『玄海』の他にNHKのハイビジョンドラマ館『蝉しぐれ』も同時受賞した。

また主演の大東友紀さんは、岸本加代子千六回大竹しのぶ十七回筒井道隆(二十四回桃井かおり(二十五回)市原悦子(二十八回)ら錚々たる俳優が受賞している個別分野賞の出演者賞を、なんとテレビュー作で受賞し、今後の活躍が大いに期待されている。

祝賀会は、NHK福岡放送局長が一同に受賞報告、現場で撮影を行った同局の東山ディレクターが『玄海』に生きる皆様がいただいた賞です」との挨拶を行い、一同『ひびき』最上階で、玄界灘に沈む美しい夕日を眺めながら、昨夏の撮影話を懐かしみ、受賞を喜びあった。

ANA SKY HOLIDAY 東京発 2004.06-10 北海道

ANA's Adventure HOKKAIDO GRAND BAZAR

ANA's アドベンチャー北海道 レンタカープラン 3日間

おひとり様 ¥41,100~¥101,700 2004.8/1→10/31 福岡発
 レンタカーSクラス利用、札幌全日空ホテル・釧路全日空ホテル [ともに朝食2回付] および同等クラス利用

主催: ANAセールス&ツアーズ株式会社 〒105-7134 東京都港区東新橋1丁目5番2号 汐留シティセンター
 (国土交通大臣登録旅行業第1656号) (社)日本旅行業協会正会員

◎ツアーに関するお問い合わせ・お申し込みは、お近くのANA指定旅行会社または下記ANAスカイホリデー予約案内センターへ。

ANAスカイホリデー 福岡 (092)720-8607

ツアー情報の詳細・パンフレット請求は下記ホームページへ。 www.atour.co.jp/hokkaido

暑中御見舞申し上げます

谷川・羽生名人宗像大社に来たる 第45期 王位戦 宗像対局・前夜祭の御案内

来る8月25・26の両日当大社^{ちよくしかん}勅使館で、第四十五期王位戦 宗像対局 七勝負第四局(主催=日本将棋連盟、西日本新聞社、後援=宗像市、宗像市教育委員会、宗像大社、宗像観光協会、宗像ユリックス他)が開催されます。

前日の24日には、玄海ロイヤルホテルで前夜祭が開催され、対局する谷川浩司二冠(王位・将王)、羽生善治王座も出席されます。将棋界を代表する御二人にお会いしたい方は、是非御参加下さい。(記念撮影可、サイン不可)尚、対局当日は宗像ユリックスで、インターネットで中継されます。

第45期 王位戦
宗像対局 7番勝負第4局

対局者
王位 谷川浩司 挑戦者 羽生善治

■と き/平成16年8月25日(水)・26日(木)
■ところ/宗像大社(福岡県宗像市御館)

前夜祭

日時 8月24日(火) 午後6時～
会場 玄海ロイヤルホテル(宗像市)
参加費 7,000円(税込み)
宗像大社、アクシス玄海、宗像ユリックスにて **前売り券販売中**

お問い合わせ
宗像大社 広報課 = 大塚
電話(0940)62-1311 (代)

対局当日

日時 8月25・26(水・木)両日とも午前9時～
会場 宗像大社 勅使館
中継 ①当日は、宗像ユリックスで生中継(午前9時～)され、指導対局、大盤解説なども行われます。(参加無料)
②インターネットでも中継しております。
下記の西日本新聞社ホームページで御覧下さい。

<http://www.nishinippon.co.jp/jigyuu/2004jigyuu/45oui/> (8月13日オープン予定)

参加者募集中

宗像ユリックスを主催する第45期王位戦を応援しています。宗像大社の歴史をたどり、谷川・羽生の対局が繰り出される今期王位戦第4局は、この宗像まで開催されます。風光明媚な土地で盛り上げられる熱戦にご注目ください。

宗像大社 092(711)5506

※ ご周知の通り、対局では静寂が一番大切でございます。当日当大社にお越しいただいても、対局の様子を見ることは一切出来ません。上記いづれかの方法で御覧下さい。

宗像大社御神酒醸造元
勝屋酒造合名会社
社長 山本 博次
福岡県宗像市大字赤間957
TEL(0940)32-3010 FAX(0940)32-4772

宗像が生んだ洋画壇の巨匠
中村研一・琢二兄弟の原画を展示
ギャラリー「**楠の家**」
毎月第1土～月曜 開館(三日間)
AM10:00～PM6:00
代表 中村 嘉彦
福岡県宗像市原町159
090-7478-8920

暑中御見舞申し上げます

JR東郷駅に七夕飾り



六月三十日当大社参拝時の下車駅であるJR東郷駅の構内に、同駅近くの日の里東保育園児ら三十三名と巫女が、『七夕飾り』を飾り付けた。

七夕伝説は当大社中津宮筑前大島が発祥とされ、先月二十三日には七夕を記念した『中津宮七夕揮毫会』、今月七日には恒例の『中津宮七夕

JR東郷駅での飾り付け

祭」が斎行されている。この宗像が誇る七夕発祥伝説を通して、子供達に何か出来ないだろうか、今回JR東郷駅長の呼びかけで行われた。

当日は、今永徹東郷駅々長、日の里東保育園々長園児らが当大社本殿で心願成就祈願をし、笹竹の清祓を受けた後、JR東郷駅に移動。

同園年長の園児三十三名に、当大社から巫女が三名、同駅員らも加わりお祓いをされた『笹竹』に思い思いの願い事を書いた短冊を付け、改札口近くに飾った。

そして園児らが『七夕の歌』を合唱すると、駅構内は七夕一色となり駅利用者も足を止め暫し見入り、巫女が園児たちそれぞれに参拝記念品を渡すと、園児たちは満面の笑みで受け取っていた。

行事後、今永駅長は「宗像が誇る『七夕行事』を通して、駅の事、巫女さんのこと、大社のこと何でもいから思い出になってくれたら嬉しい。何よりも子供達の笑顔を見るのができて良かった」と話されていた。

そして園児らが『七夕の歌』を合唱すると、駅構内は七夕一色となり駅利用者も足を止め暫し見入り、巫女が園児たちそれぞれに参拝記念品を渡すと、園児たちは満面の笑みで受け取っていた。

行事後、今永駅長は「宗像が誇る『七夕行事』を通して、駅の事、巫女さんのこと、大社のこと何でもいから思い出になってくれたら嬉しい。何よりも子供達の笑顔を見るのができて良かった」と話されていた。



本殿で、お祓いを受ける東郷駅長・園長・園児代表ら




大合唱する園児たち

つばめ、翔ぶ。

九州新幹線800系

九州新幹線つばめ
博多駅～鹿児島中央駅 **最速2時間10分**





博多 鳥栖 久留米 大牟田 熊本 新八代

リレーつばめ
RELAY TSUBAME

新八代 新水俣 出水 川内 鹿児島中央

新幹線つばめ
SHINKANSEN TSUBAME





PRODUCED BY KYUSHU RAILWAY COMPANY SINCE 2004
FROM SHIN-YATSUSHIRO TO KAGOSHIMA-CHUO

暑中御見舞申し上げます

(続)

浜の寄物

186

いしい ただし



志賀島で復元中の古代船

の漂着物の状況を調べたが、旧三位社下付近側は巨大な波消しブロックの間にはさまった発泡スチロールの塊があった程度であった。避難港側は漁船の出入りも多いせいか、護岸と波消しブロックの間にはポリ袋やインスタント食品の容器等が若干見られた。漁業従事者の出すゴミは、すべて持ち帰りの徹底が必要であろう。漂着物らしいものはほとんど見られなかった。

五二七年継体二十一年継体天皇の時、筑紫の磐井の乱がおこる。古代最大の乱である。その継体天皇の陵墓とされる今城塚古墳や聖徳太子の時の推古女帝、さらに岡山県・長船町の築山古墳(吉備王等の石棺(石の柩)は肥後

五月二十七日、沖津宮現地大祭に数年ぶりに参加した。この日は好天に恵まれ世界遺産の話題もあって、参加者は例年になく二百五十名が参拝した。

昨年豪雨被害も一部祭祀遺跡の崩落と頂上燈台に至る道路の損壊があったようだが、沖津宮周辺と路は原生林に囲まれている為か、あまり感じられなかった。島にあがって周辺

阿蘇山の石(阿蘇溶結凝灰岩が使われている。この石はピンク色をしているため阿蘇のピンク石と呼ばれている。阿蘇から関西までは八〇〇キロ、この石がどのようにして運ばれたのか、そこには海と古代王権、そして九州との壮大なドラマと謎とロマンが隠されている筈である。大プロジェクトを組んでその解明するべく準備が着々と進行中である。題し

て『大王の柩』実験航海」。熊本県宇土ではピンク石の石棺が製作中である。

古代船は志賀島の造船所で建造されていた。巨大な米松二本、それを電動ノコで切り船底部を整えていく。私も元西南学院大学教授長洋一先生とその作業を半日見えた。先生は感激され、万葉調の長歌「志賀の匠(船大工)賛歌をつくられ、見せていただいた。本当に楽しみ企画である。

次も舟の話、私事で恐縮だが、『古賀市立歴史資料館』では、夏の企画展として、極北の民アリュートのカヤックを復元展示する。期間は七月十九日(祝)から八月二十二日(日)まで、八月七・八日は公開制作、八日の二時から「サンフレア」が二階視聴覚室でカヤック制作講話も行う。講話はシーカヤック製作者の第一人者・大田八州徳氏。

黒潮の果てのアリュートカムチャッカ島からアリュート列島に住む少数民族のシーカヤックだが、先の『大王の柩』の古代船とい、共に海を通じてロマンとドラマにあふれている。

平成16年度 企画展 **シーカヤックをつくる**

黒潮の果て 極北民族の技(アリュートの民)

志賀市立歴史資料館(サンフレア)2階視聴覚室(無料観覧)

開催期間 7月19日(祝)～8月22日(日)

開催時間 10時～18時 休館日 7月20日(火)・7月22日(木)・毎週月曜日

公開制作 7月24日(土) 25日(日)

8日(土) 9日(日)

会場 サンフレアこが橋広場(徳光神社前) 時間 11時～16時

カヤック製作講座 8月8日(日)

講師 サンフレアこが2階視聴覚室 時間 14時～15時30分

講師 カヤック製作部 大田八州徳氏

古賀市教育委員会・古賀市立歴史資料館

沖ノ島を題材にした、かたりべ文庫の絵本「はるかな島のものがたり」が童心社より9月全国発売。

文・山下明生先生、絵・宇野亜喜良先生は童話や絵本の世界で数多くの輝かしい受賞をされています。制作にあたって両先生は玄界灘の沖ノ島や、みあれ祭を現地取材され、その感動をいきいきとした文と絵に表現されました。子どもたちへはるかな遠い島の歴史のロマンを伝え、未来に残していくために。

●お問い合わせは かたりべ文庫
 発行人・松岡弘明(株式会社ゼネラルアサヒ) 編集人・土井国男(株式会社ジーエータップ)
 福岡市博多区綱場町2-2 福岡第一ビル1F (株)ジーエータップ内 TEL092-291-8801



暑中御見舞申し上げます

第五一六回

宗像大社歌会詠草

大野展男選 毎月25日メット



田野 森 つるの
当たり年となりたる柿が花がらの多に落ちるをバケツに拾ふ
〔評〕待たれる実りの秋である。老木の下で花殻を拾う作者の姿がほ、
えましい。

大島 杉田 禮子
この海先のなる島の沖ノ島海軍記念日今日還拜す
〔評〕沖ノ島と日本海大海戦、強国日本の幕明けの舞台でもあり、この
地方の人々には代々語り継がれる日である。

王丸 小方 玲子
梅雨入りの間近かとなりし山あいを呼び合いながらホトトギス啼く
〔評〕乱開発のせい、時鳥の飛来が頓に減ったと思うのは私だけだろ
うか、二羽の声を一度に聞いた作者が羨ましい。
○ほととぎすもうるなくなりうぐひすはいろいろ鳴いて石榴にも来る
と馬場あき子さんも詠っている。

日ノ里 石松 弘次
梅雨さなかあまたのむくげ揺れ止まず年金法を自公通しぬ
〔評〕参議院選で国民の結論は出ただろうか。多くの人が納得しない今回
の年金法案。上句と下句のイメージのつながりは見事である。

大井 木原ふさ子
熔接の青き焰をまぶしめて人影少なき町角まがる
〔評〕小さな町の小さな発見だが、一首からはほのぼのとした詩情が立
ちのぼる。

津屋崎 佐々木和彦
四試合捕手を務めて優勝旗斜めに受けるわれは両手で
〔評〕チームで一番重責の捕手を四試合全部を務めての優勝旗を受ける
喜びが、下句にしつかりと詠われている。

池田 森 龍子
畦道に添ひて芽花の穂は塵く代掻き終へし田の静もりに
〔評〕田植までのひとときの静寂にある田園、吹く風もせずし気で日本
ならではの風景である。

浮羽 向 則正
はじめての乗馬体験おのづから目線は上がり迫る由布岳

東旭ヶ丘 天野 玲子
歩こう会の道にみつけれし友の家庭にピンクのつりがね草咲く

田熊 有田ゆり子
朝の日の右手より差し吾と影並びて歩く木立に入るまで

福岡 中村 勇
年だから乗るなど言はれし自転車をごっそり出して畑に急ぐ

福岡 池浦千鶴子
起きぬけの硬き体を右ひだり曲げ伸ばしして立ちぬ厨に

田野 森 甲子
ダイケアより戻りし妻を迎へたる夫は礼言ひ背を支へゆく

朝野 藤井 浩子
夫との旅もしばらく止めとする老い猫の声出なくなりしに

鐘崎 安永 久子
梅雨あめに萌え立つ青葉紫陽花の大き花穂際立ちて白し

日ノ里 大和美由紀
菖蒲咲き清しき風に揺れ揺れて庭は優雅な景色となりぬ

選者詠

波先にサッカーボールころがりて穴戸湖畔夕ぐれむとす
濁りたる馬洗池雨あとを及ぶ日差しに水馬とぶ
覗きたる松江の小さき骨董屋並べる皿は古伊万里めけり



宗像大社歌会
俳句作品集(四九二)

福岡 森 清
梅雨に入るやるせなや妻入院す

光岡 白土 凌一
外見れば青葉青葉の夏の日よ

日ノ里 花田 いつ枝
かの人の忘れ傘かも梅雨晴るる

光岡 井上 嘉治
牽牛も織女も渡る天の川

東郷 宗風社俳句会
黎明の雲海に浮く九十九島

吉田 杏子
光りつつ草に沈みし螢かな

三浦美千代
父を呼ぶ子の声高しいわつばめ

田中 雨葉
浜木綿に隠れて細し海女の道

木原 房子
五月晴五岳の臍の噴煙を

編集後記

宗像に来て六年目、まだまだ知らないことが沢山あります。酒造会社へ今月号の広告依頼に伺つと、「我家と縁があるので、このキャラーのことも載せてほしい」との願いで、そこを訪ねてみました。中村研一・啄二兄弟。宗像の生んだ偉大な画家兄弟。『芸術院会員』となった唯一の兄弟だそうで、作品を見たから分かる方も多しはずです。この二人が尽力した、我が国的美を代表する総合美術館「第35回日展」が、今月八日まで福岡県立美術館で開催されています。そして福岡市博物館では今月二十九日まで、当大社の御神宝も出陣している『秘められた黄金の世紀展〜百済の武寧王と倭の王たち〜』が開催されています。社報『宗像』も、掲載すべき話題は盛り沢山です。(M.O)

宗像大社社務所 発行所

〒811-3505 福岡県宗像市田島
電話 0940-62-1311(代)
発行人 伊藤佳和
編集人 大塚宗延
制作 ジーエータップ
印刷 ゼネラルアサヒ

定価1年送料共1,000円